

水彩画の保護ワニス

紫外線、カビから保護する

水彩画の展覧会に行くと、美術館や画廊の室内が暗いのに
お気づきでしょうか。水彩画は油彩画に比べて耐光性が劣
り、むやみに紫外線をあてると作品が褪色してしまうからで
す。また、水彩画の基底材である紙は湿度の変化に敏感な
ため、キャンバス以上にカビが生えやすくなります。カビは一
度生えると、紙の繊維の隙間に入り込み、画面そのものを変
質させるため、完全に除去するのが難しくなります。顔料の
褪色の原因である紫外線、そしてカビから水彩画を護る、水
彩画用の保護ワニスがホルベインから発売されています。

2つの耐光ワニス

■UVグロスバーニッシュとUVマットバーニッシュ

油彩画は顔料と合わせた糊材(乾性油)がそのまま酸化し
て固化するに對して、水彩画は水分が蒸発して固化するの
で、顔料が比較的むき出しの状態になります。水彩画の耐
光性が弱いのは、むき出しの顔料に直接紫外線があたるた
めです。UVグロスバーニッシュ、UVマットバーニッシュは紫
外線を吸収・分解して、顔料の色褪せを防ぎ、色の保ちを高
める耐光ワニス。グロスはつやあり、マットはつや消しタイプで
す。いずれもかけ過ぎると成分の樹脂によって紙が透明化し
たり、色調が変わったりすることがあるので注意が必要です。

カビを防ぐワニス

■水彩画保護ワニス

防カビ効果を持たせたのが、ホルベインの水彩画保護ワニス

です。作品が完成し完全に乾燥した後、画面より30cmほど
離して全体に薄く均一に吹き付けます。画面が終わったら、
裏面にも同様に吹き付けます。片面だけだと、防カビ効果
が十分に得られないので注意してください。

耐水効果と塗り替え

2つのUVバーニッシュは、いずれも耐水効果を持っていま
す。従って、使用した後では水彩による加筆ははじいてでき
ません。水彩画保護ワニスも耐水性がありますが、UVバ
ーニッシュほど強くないので加筆が可能です。油彩画用の保
護ワニスは後日表面が汚れたらワニスごと洗い流し、再び塗
り替えることができますが、水彩画保護ワニスは基底材が
弱い紙であること、紙の余白部分にしみこんだ樹脂を再溶
解するのが困難なことなどから、現実的には塗り替えは難
しいようです。ちなみに、水彩画保護ワニスはアルコールで、
UVグロスバーニッシュ、UVマットバ
ーニッシュはペトロロールなどで再溶解
できます。

タブローやマットタブローなど、油彩画
に用いる保護ワニスがあるように、水
彩画にも保護ワニスがあってもいい。
そういう発想から生まれたのが、ホル
ベインの水彩画保護ワニスとUVグ
ロスバーニッシュ、UVマットバーニッ
シュです。水彩画作品を永く、いい状態
で保存して愉しみたいというアーチス
トに使って頂きたいワニスです。



水彩画
保護ワニス
(防カビスプレー)
UV マット
バーニッシュ
(つや消し耐光ワニス)
UV グロス
バーニッシュ
(つやあり耐光ワニス)

ホルベイン絵具に関する
ご質問・ご相談は…

ホルベイン絵具 技術サービスセンター TEL.0729 (85) 1223
〒579-8063 東大阪市横小路町4-10-52
電話受付時間/9:00~16:00 月~金曜日(祝日を除く)



ホルベイン絵具